

新学年を迎え、早くも1か月が過ぎようとしています。新しい学年にも慣れ、生活のリズムができあがる頃です。生活のリズムの基本は、朝起きる時間、夜寝る時間、食事の時間の3つを固定することです。これらの時間がバラバラでは、生活のリズムを作ることは難しいです。御家庭には、それぞれの事情もありますが、望ましい生活のリズムが作れるように御支援をお願いいたします。

さて、今回はキャリア教育の目的について少し述べさせていただきます。キャリア教育が何を目指しているのかは経済産業省のHPに出ている「社会人基礎力」を見ると参考になります。そこには、3つの能力として、「前に踏み出す力」～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力。「考え抜く力」～疑問を持ち考え抜く力。「チームで働く力」～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力。の3つの能力があげられています。さらに、それぞれの能力を構成する要素として、主体性や計画力、状況把握力、規律性などがあげられています。

これらの能力や構成要素は、特別なものではなく、毎日の学校生活で求められているものであると考えます。しかし、日々の生活を何となく送っていて身につくものではありません。目的意識を持って生活していなければ何も身につけられません。進路指導部では、目的意識をもって高校生活を送ることができるように「進路シラバス」を作成しています。高校生活の、どのタイミングでどのような取組が行われるのかを見通して、計画的に対応すると同時に、それぞれの取組を行う上でのポイントもわかるようになっていきます。本日配布しました進路シラバス（保護者版）と併せて御覧いただき、お子様との対話に役立てていただければ幸いです。



オリエンテーション合宿 野外炊飯

9月までの主な進路行事

「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。

- 6/11(火) 進路講演会(3年生徒、保護者対象) 「最新入試情報と保護者・受験生としての心構え」
- 6/13(木)～19(水) 1～3年 保護者懇談会(17(月)～19(水)は4限授業)
- 6/28(金)～7/3(水) 1学期期末考査
- 7/6(土) 1年 模試(進研記述3教科)、2年 第1回西三テスト(進研記述3教科)
- 7/6(土)7(日) 3年 模試(進研記述総合5教科)
- 7/22(月)～8/6(火) 1・2年 夏季補習(校内、7/27、28、8/3、4除く)
- 7/22(月)～8/9(金) 3年 夏季補習(校内、7/28、8/3、4除く)
- 8/3(土)4(日) 3年 模試(第2回全統マーク模試5教科)
- 8/7(水) 1年 職場訪問研究中心日(9月に訪問結果の発表会)
- 夏季休業中 2年 大学訪問研究、オープンキャンパス参加
(9月に訪問結果の発表会)
- 8月中旬 3年 東大・京大・名大オープン、実戦模試
(希望者:公開会場)
- 8/19(月)～23(金) 3年 夏季補習後半(校内)
- 8月27日(火) 1・2年 東大訪問研修会(希望者)
本校卒業の東大生による大学の概要説明と案内
生産技術研究所訪問研修
- 8/24(土) 2年 ハイレベル模試(校内、希望者)
- 9/2(月) 3年 大学入試センター試験受験案内
(志願票)配布・記入説明



3年遠足スチールドラゴン



2年遠足 民族衣装で

1年生

<オリエンテーション合宿>

4月16日から2泊3日の日程で、旭高原少年自然の家にオリエンテーション合宿に行ってきました。様々な研修、野外炊飯、校歌発表会などを通して、クラスの仲間との絆を深めることができました。出発前には不安な顔をしていた生徒たちも、合宿から帰ってくる頃には「西高生」としての自覚を持ち始め、また今後の高校生活に対する自信が得られたようでした。

<1学期中間考査>

高校生として最初の定期考査です。万全の準備をして臨んでももらいたいと思います。学年順位やクラス順位に目が行きがちですが、この時期は、順位は問題ではありません。一番大切なことは、基礎基本が定着しているか否かであり、高校の授業に対応した家庭学習ができたか否かです。理解が不足していたところは復習をきちんと行うとともに、次回の考査に向けて学習方法や内容を再点検するようにアドバイスをお願いします。

<進研模試>

高校生になって初めての全国模擬試験です。7月6日(土)に国・数・英の3教科を受験します。「習ったはずなのにできない」という問題をあぶり出し、弱点補強の機会としてもらいたいものです。もちろん、全国のライバルたちと比べて自分の学力がどのくらいであるのかも把握できます。

2年生

<2年生になっての心構え>

2年生になり、クラスも文理の類型別に分かれました。授業でも、より専門的な内容を扱うこととなります。また、初めて学ぶ科目もいくつか登場します。何事も初めが肝心です。中間考査には、全力で取り組んでももらいたいと思います。

<春休み課題～研究論文より>

春休み課題で取り組んだ「大学・学部・学科研究」と「研究論文」の発表会を、各クラスで行い、友人と調べた内容を意見交換することで、新たな疑問点を発見することができました。身近にライバルが多くいることで、互いに切磋琢磨して伸びていくことができます。高い目標をもち、頑張ってもらいたいものです。

研究論文優秀作のテーマ例

「公判前手続きをより良きものにするために」

「世界の貧困問題を医療面から眺め、解決策を考える」

「オウムガイと巻き貝の殻の生成」

<部活動への取組>

部活動では、すでに多くの部で総体予選が終わり、2年生中心の新体制へ移行しています。この先、部活動や西祭、修学旅行など、2年生はとかく忙しいですが、上手に勉強と両立させたいものです。

3年生

<3年生になっての心構え>

3年生になって、1か月が経ちました。高校総体も終わり、落ち着いた雰囲気、学習を進めることが必要です。センター試験まで、9か月です。1学期の挽回を夏休みに取り返すことは不可能に近いと思われるので、1学期からコツコツと取り組むことが大切です。コツコツは勝つコツ!!

<西祭を制する者は、受験を制する>

中間考査が終わると西祭の準備が始まります。

西祭の時期でも、学習時間の確保は必要です。西祭の時期でも、成功した卒業生は学習時間を確保していました。西高生の良いところを意識して、西祭準備期間中も学習を欠かさずに毎日を過ごしたいものです。

西高生の良いところは、1. 切り替えが早い。2. 楽しむときに楽しめる。3. こぞどというときの集中力。これは、学校行事のときに生きてくるのです。受験と西祭を両立させ、成功させましょう。

<夏季休業中には、補習を中心とした学習計画を>

受験の天王山である夏休み。この言葉は、言わずもがなですが、夏を逃してしまえば、まとまった学習時間の確保は難しくなります。ここでどれだけ弱点を解消できるか、基礎基本の定着を図れるかが大切です。そのために、学校を最大限に利用してもらいたいと思います。すべての受験生が必死で頑張る夏。負けてはいられません。

<オープン・実戦模試>

夏休み中に学習した成果を試すために模擬試験を活用します。また、学習のメリハリをつけるためにも模擬試験は役に立ちます。特に、志望大学の傾向に合わせたオープン・実戦模試はモチベーションの向上に効果大です。名大オープンは、国公立大学の2次試験のレベルを知る意味もあります。さらに、これらの模試は、名古屋の会場まで出向いて受験するので、気心が知れたクラスメートと学校で受験する模試とは雰囲気が違います。

受験は全国の受験生との戦いです。その雰囲気を味わうだけでも、今後の受験に対する気持ちが変わってきます。

夏季補習(学校を最大限に活用しよう)

前半 7月22日～8月8日(日曜日は除く15日間)

後半 8月19日～8月23日(5日間)

午後も特別講座を開講し、16時50分までは自習もできます。

オープン(河合)・実戦(駿台)模試

東大実戦(8/10, 11)、東大オープン(8/17, 18)

京大オープン(8/11)、京大入試実戦(8/25)

名大オープン(8/18)

申し込みは、7/4(木)進路指導室にて。